

つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会

日 時：平成30年10月14日（日）15：00～16：30

場 所：谷和原公民館

出席数：28名



(説明会の様子)

■ 質疑・意見交換

市 民 1 1点目の質問は、義務教育施設適正配置のアンケート結果についてです。19,459世帯配布して、回答率が232票と1.2%です。2割から3割の回答率があるなら良いと思いますが、これはアンケートと言えないと思います。

2点目はアンケートの内容です。人数ありきで「何人ですか」、「小中学校の1クラスのふさわしい人数は何人ですか」、あるいは「各学年のクラスは何クラスがふさわしいですか」、「1つの学年の生徒数が何人以下になったら学校の統廃合が必要だと思いますか」など、アンケートの出し方が、非常にまずいと思います。なぜ、いきなり人数のアンケートにしたのかが疑問です。

市民の中には、学校に通っている家庭と児童生徒がいない家庭があり、それによって回答する中身が全く変わってくると思います。本来なら、今の教育環境について保護者や児童生徒がどう思っているのか、これについてのアンケートを、まず行うべきだと思います。それと同時並行で、児童生徒がいない家庭と地域の人はどう思っているのか、このような対象を絞ったアンケートをして、市民の素直な意見について我々は知りたいのです。そしてそれを市民全体で共有し、学校に通っている子どもと保護者はこういう考えを持っており、児童生徒がいない家庭はこういう考えを持っている、というようなことを、公表し、共有して欲しいです。その上で統廃合をどうするか考えていく形にして頂きたいです。

司 会 今のご意見・ご質問なのですが、まずアンケートの回答率の少なさ、それとアンケートの内容につきまして、人数を性急に求めすぎたのではないかという点、学校に通わせている家庭と通っていない家庭では、内容が変わってきたのではないかという点で宜しいでしょうか。

市 民 1 アンケートに至った経緯もお願い致します。

市 今回のアンケートを取った経緯ですが、小田川市長になり、適正配置の再検討という方針が出されました。そこで、まず市民の方々の意向を聴きたいということで、今回、全戸配布という形を取らせて頂きました。

その全戸配布の中には、おっしゃるように色々なご家庭があると思いますが、私どもとしては色々な方々からのご意見を伺いたいということで、各家庭に送らせて頂きました。回収につきましては、各公共施設と市民の皆さまが一番行きやすいであろうコンビニエンスストアの方に回収箱を設置致しました。

結果ですが、説明した通り19,459票に対して、232票という回収結果ではございました。確かに少ないというところではございますが、その中で、約9割の方が自由記述のご意見を書いて頂きました。その9割の約200件のご意見は非常に重要なご意見ということで、それにつきましてはアンケートを行った意味があったと考えております。

市民 1 1. 2%の人は非常に関心がある人が出ただけで、残りの98%の人は無関心で意見が分からないのです。だから関心がある人の意見が“こうだった”と言うのが全ての意見ではありません。また、なぜ、数字のアンケートに走ったのでしょうか。そこについての説明をして欲しいです。

例えば、保護者の方に、「あなたは、今、現在の自分の子どもを通わせている教育環境に何か問題を感じていますか。あれば書いて下さい。」と、そのような文面でダイレクトメールを郵送で送ったら良いのではないのでしょうか。それが一番の直接の意見で、もっと回答率が良くなるはずですよ。

行政の人は、自分たちの行政ありきの考え方で先行してしまうんですよ。以前の適正配置審議会の時も、市民の意見を聴くと言っていましたが、聴かずに行政側が先に案を出していました。だから、我々の意見が反映された案ではないということで反対しました。また同じようなことをするのはないかと感じました。なぜこのように至ったのかをよく議論して吟味して欲しいです。

司 会 ご意見と言う形でお受けして宜しいでしょうか。

市民 1 いいえ、質問です。

もう1回、保護者に対して直接アンケートをして欲しいです。それを我々に、結果がどうであったか知らせて欲しいです。私たちのような大半の人は、学校へ行って教育を見ている訳でもありませんので、教育環境の現状がわかりません。

例えば、学校の授業風景を見させてもらったり、あるいは、市議会と同じように、市役所のテレビで授業風景が見えるようにして欲しいです。そうすれば、小規模校

はちょっと活気がないとか、大規模は活気があるなあとか事実がわかるんですよ。

市 まずアンケートの回答数が少ないという点について、これまでは、学校単位で色々なご意見を頂いていました。学校単位で独自に各小学校のPTAの皆さんがアンケート等も実施していただきましたが、そうするとPTAの方々の意見は頂くのですが、地域の方の意見が反映されません。尚且つ、これまで説明会を何度も実施して参りましたが、開催を知らなかったという方もいらっしゃいました。そこで、一度全戸に対してご意見を聴きたいという趣旨で、アンケートを出させて頂いたという経緯です。

 それは数が200だから300だからということではなく、この結果を参考資料として審議会に報告したいと思っています。行政が情報発信していても、これだけしか返ってこなかったということは、市民の皆さまがまだまだ関心が少ないのではないか、それもまた事実であり、この事実は必要であると思っています。

 また、数字から入るアンケートはどうなのかという点ですが、このアンケートを出す中で、数値をお示ししなければ、皆さまの意見が分からない部分や行政側が参考にできない点があると思います。これまでも説明会や意見交換会を開催しておりますので、ざっくりとしたアンケートをする段階では無いという判断から、このようにさせて頂きました。宜しくお願い致します。

市 民 1 ある程度、趣旨は分かりました。アンケートはあくまで参考であると理解しました。

 ただ、一番の問題は人数が減り小規模校になって、事実的に何が問題かということと
ころです。小規模校になった時に、学校運営上の課題、それによる学童への影響があります。実際どんな課題があるのかが分かりませんので、具体的な課題を説明してください。

市 小規模校の問題、特に複式学級が与える影響として、国の方では9点程出しております。

 1点目は集団の中で自己主張したり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい。2点目は、児童生徒の人間関係や相互の評価が固定しやすい。3点目は、協働的な学びの実現が困難となる。4点目は、教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。5点目は、切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。6点目は、教員への依存心が強まる可能性がある。7点目は、進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。8点目は、多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難

しい。9点目は、多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しいということが言われています。

小規模校の良さがあるのは行政側も理解しています。しかし、子どもたちが小規模校で学んだ具体的な弊害の1つをお伝えすると、例えば、人間関係が挙げられます。とても良い人間関係であれば、ずっと最後まで仲良くやっていけるのですが、その人間関係が一度崩れて固定化されてしまった時に、1年生から6年生までその序列でいいのだろうかという心配があります。しかし、1学年2学級以上であれば、そういった問題があった時にクラス替えが出来ます。

また、学習の広がりという面でも心配があり、例えば「意見を出しましょう」ということで子どもたちが意見を出しても、数人の中ではそこから広がらないことがあります。人数が少ないからきめ細かく丁寧な指導ができていくという考え方はあるかもしれませんが、子どもたちが切磋琢磨しながら伸びていくことが出来るのだろうかという懸念はしております。

市 民 1 色々と内容は分かりました。学校も先生も苦労していますし、学生も少なく困っていることがあると思うので、色々な対策を考え、市民が理解しやすいように説明し、共有して頂きたいと思います。

市 民 2 アンケートが全体の約2万弱の世帯に配布して1.19%の回答率です。統合する小学校の人は殆ど関係がありませんし、関心を持っていません。統合対象地域の人は、真剣に考えているのも事実です。

このアンケートにはつくばみらい市の将来のことが入っていません。市の教育に関する計画は、少なくとも30年から50年くらい先までのビジョンが無くてはまずいと思います。つくばみらい市を今後どのようにしていくのか。つくばみらい市の人口は今後どのようになり、それに伴って工業はこうなるので、子どもの数が大体こうなるという見通しを立てたうえで、小学校の位置づけの問題がでてくると思います。

今つくばみらい市が福岡地区に工業団地整備の同意をようやく貰い、契約も終わりました。これから建設に入ります。2～3年で建設されて誘致企業が入ってくると思うのですが、福岡地区は小学校に入学する人数が2桁の数字になってきています。現在の統計の中には、この工業団地整備に伴う変動は入っておりません。10年～20年後は今の状況ではないと思います。審議会もつくるということです。その辺も審議の中心部に置いて、考えてもらいたいです。

市 民 1 まず、1つははっきり言えることは人口が減ることです。そのため、まちづくりを含めてコンパクトに考えなければいけない部分はそうしなければいけませ

ん。

そして、将来に子どもたちに負担を残さない為にも、公共施設の在り方も考えていかなければなりません。行政としては人口が増えていくという、楽観視はあまりしておりません。ただ、人口を増やしていく努力はしなければなりません。それには何が必要かと言うと、小学校も当然そうですが、やはりまちづくりだと思います。

当市においては、みらい平駅を中心に多くの方に住んで頂いていますが、そこにも限界があると思っています。それは日本の人口がこれから急速に減っていくことが1つありますので、慎重に将来の推計を見ながら国の示している統計を見ながら、考えていかなければいけません。そこまでなるべく予測をたてた計画を、まちづくりとして入れていかなければいけないと考えています。

市民がどれだけ関心を持っているかという点ですが、アンケートの内訳のほうを話しさせていただきますと、一番多かったのは陽光台小学校区の方が一番多く、29.3%でした。続きまして富士見ヶ丘小学校区の方が12.9%、続いて谷井田小学校区の方が多かったという状況でございます。学校区の偏りや一番多いところなどはございますが、一応全ての地区の方からご意見を頂戴しているという状況でございます。

市 民 2 人口が少なくなってくるという発言については全体的なところなのでしょうけど、福岡地区の子どもたちの状況はどのように考えますか。

市 福岡工業団地は整備を進めており、企業誘致を行って、人口増となることを望んでおります。しかし、東京、千葉といった近隣にお住まいの方が、こちらに移住すると、やはり第一に増えてくるのはみらい平地区であると思っています。

福岡地区に関しても、人口が増えるようなエリアとしては、まだ考えられますので、そこについては慎重に考えなければいけません。そこに住んで頂く方のお子さんの世代が定住して頂くところまで、まちづくりとして耐えられるかどうか、という魅力の部分もあると思います。そこはまちづくりに繋がってくると思いますので、しっかり考えていきたいと思っております。

市 民 2 私は地元小学校が有ると無いとでは、これから進出する企業、住宅建築に大きく左右すると思います。将来、福岡地区に工業団地が33haあって、固定資産税が5億から6億くらい入ってくるのが目の前にあって、そこに工場が建ち、住宅が張り付くような計画がある中で、小学校は必要ではないかという意見です。

また、現計画では福岡小学校は谷原小学校に統合するとなっておりますが、谷原小学校と十和小学校の統合先が福岡小学校でもいいのではないですか。統合先の学校について以前の教育委員会の回答では、谷原小学校の教室数のほうが1つ・

2つ多いからというものでした。

市 福岡小学校は7学級しか普通教室で対応出来ません。十和小学校で7学級、谷原小学校で10学級の対応が出来るということで、施設面のこと教室数のことで、谷原小学校という風にさせて頂きました。加えて、障がいがある児童の為にエレベーターが付いているのも谷原小学校だけになります。宜しくお願ひ致します。

市 民 3 意見が2つあります。

まずアンケートについてです。学校に関係のある方と関係の無い方が混在しているまちですので、このアンケート結果自体はあまり統計学的な意味は無いと考えています。

もう1点ですが、小規模校についてです。私自身、小規模校を卒業していますが、大学も行って博士を取っていますので、あまりそこは関係ないと思います。ですので、国の方針がどうだからというのではなく、やはり学校で学ぶ、子どもや保護者の方の意見というものを重要視して、統廃合しなければならないと考えています。

ここからは質問なのですが、統廃合することによる財政的なメリットについてです。統廃合によっていくら削減できて、小学校の維持費にいくらかかり、今後の人口変動によってどのくらい収入が増えていくのかという定量的な部分の計画と、その公表についてどのように考えているか、お聞きしたいと思っています。

市 まず、学校の経費の方について説明させて頂きます。今年度の予算で一番多い学校で約4,500万円の学校運営経費がかかっております。一番少ない学校で約1,100万円というような状況でございます。統合した場合その分減るのかという話になりますが、その分は新しい学校の経費にそのままいく形になってくると思います。

市 民 3 そのシミュレーションはされていますか。学校の設備を維持するのと、教員や子どもたちへの学びの教科書代を含めると、4,000万+1,000万の5,000万で新しく統合するとかかるという話にはならない気がします。

市 教員の経費につきましては、県の方から来て頂いているので、市では支出していません。市で支出しているのは、チームティーチングですとか、そういう補助的な教員の経費についてです。その他、市の経費としては施設の維持管理費用や先生方の教科書代とか、学校での運動会や卒業式といった学校で使う教材などです。子どもたちの教科書費については、国から支給されています。

市 民 3 そうするとやはり、4,000万+1,000万で、5,000万かかるという話にはなりませんね。

市 ならないと考えています。

市 民 3 そうなると学校を統合することで、どこまで圧縮できるかというところも知りたいです。数字で市民が共有できると、統合した方が良いのかしなくても良いのかというところが意見交換しやすくなると思います。

市 財政の面から統廃合や配置計画をする、しないという判断ではなく、子どもたちのより良い教育環境を作る為にはどうしたらいいのか、ということを中心に考えております。

もちろん、新しい学校を生み出すには経費が当然掛かってきますので別の議論ですけれど、経費が安くなるから学校を減らしていくという考えで、進めていく訳ではありません。

市 民 3 分かりました。ありがとうございます。アンケートも少しきちんとしたものやらないといけないと思いました。

市 ありがとうございます。アンケートにつきましては、今回のアンケートが全てではありませんので、これからアンケートや、このような意見交換会を重ねていき、議論を深めていきたいと考えておりますので、またその際にはご協力頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

市 民 4 今回のアンケートの集計について質問です。

私は今回のアンケートについて、回答するのが面倒くさいというのが正直な意見です。私たち子育て世代は、帰宅時間も遅く、週末もやることが多い中でアンケートとなると、心理的に敷居が高く、もう少し簡単に回答できる方法がないのか、意見のくみ上げ方の検討を頂けないかと思っております。

それから、先ほど、アンケートがなぜ数字から入ったのかというご意見がありましたが、私もそう思いました。正直、何人だから複式学級を解消して、統廃合した方がいいのかというところに関して言えば、パッと見てもどこに丸をつけようか、具体的によく分からないし、これをもって何の意見を集約したいのかがというところが見えてきません。アンケートがある以上、何か目的があると思っておりますので、回答しやすいような質問にして頂きたいです。

ここからは質問になります。前市長の時に統廃合の計画が策定されたことで、統廃合は決定したと思っていました。中学校の件に関しましても、みらい平地区に中

学校は作らないと聞いていました。

なぜ、今回方針転換することになったのか、もう少し詳しくお聞かせ願えませんでしょうか。スケジュールが難しくなったとお話しされていましたが、どのようにスケジュールが難しくなったのでしょうか。

市 今回のアンケートの目的ですが、最初から数字を出させて頂いたのは、統廃合しなければならない複式学級や小規模校がある中で、人数であるとか、そのような部分について具体的なご意見を頂きたかったところが、1つ狙いではありました。ただ、それは市民の皆さんの意識が無かった部分であり、皆さまにとって良いアンケートとなっていなかったという点は改善していきたいと思います。

次に、再検討の理由ですが、現計画では、東小学校・板橋小学校の統廃合は平成31年4月からということでした。しかし、それについての準備や市民の合意がなされておらず、計画通り進めることは難しいと判断しました。そのため、統廃合をしなければいけない優先的な学校から進めるには、もう一度スケジュールを立て直さなければいけない、というのがまず1つあります。

それともう1つは、今後人口が減少してくる中学校があるということです。適正配置の検討に入った当時平成21年からは、予想を超えるみらい平地区の人口増に対し、一方で、他の中学校では人口が減ってくる地域もあり、その生徒数の減少にも対応しなければなりません。そういった中、平成21年から始まった適正配置計画にも無理があるということが段々見えてきました。

そのようなことで、幼稚園も含めた教育施設の適正配置を、もう一度考え直さないといけないという事になりました。これは10年先、20年先を考えて行くのは当然ですが、現状をまず変えていけるものを進めていかなければいけないという考えから、再検討となりました。

市民 4 今まで意見交換会に出席させて頂く度に、言わせてもらっているのですけれども、方向性が分からないことが多くて、皆が振り回されてしまいます。今回も振り出しに戻ったということで、少し振り回されています。

まず、みらい平地区に住んでいる方々の考え方と、伊奈と谷和原地区に住んでいる方々の意見は、大分違うと思います。その中でも、今まさに小学校に通わせている親の世代と、そうでない人達とで意見がまた違うというのはあると思います。

折角アンケートを集計して意見が取り揃っているのに、それは公開できないものなのでしょうか。それぞれの地区でどういう考えがあるというのを、お互いに理解しないと、それぞれの言いたいことだけ言って、市として前向きな意見にはならないと思いました。意見の扱い方によって、こちら市民側の方も色々と感じるところ

とか、考え方とか、振り回されるなどありますので、その辺りをもう一度熟慮して頂けないかなと思います。

市 ありがとうございます。

方向性が分からないと皆さんが戸惑ってしまうという点は確かにそうだったと思います。それはなぜかと言うと、行政側は今までの統廃合を進めていく上で、「地域との合意形成がなされたうえで」というスタンスが前提にありました。しかし、それではいくら議論をしても平行線でした。今後は、行政として責任をもって判断し、行動に移すという決断をし、平成31年度中に決めていきたいと考えています。今後は市民の皆さまが振り回されることの無いように、皆さんにお示しをしていきたいと思ひます。

アンケートの公開や、意見の公表につきましては、全ては難しいですが、11月の広報紙の方にも、アンケートの結果を公表する予定であります。併せてホームページの方では全て公開する予定でありますので、ご理解頂ければと思ひます。

市民 5

私が1点お尋ねしたいのは、小学校を統廃合する場合に、スクールバスは必須だと思っております。それであるとすれば、どこの地域の学校を有効に使うのかは、やはり施設の利便性・安全性が最優先で判断の材料になって頂きたいと思ひます。

3年前の常総市の水害のことは記憶に新しいと思ひますが、小貝川の南側の堤防が仮に切れたということを考えて時に、それであつても安全が確保出来るということまで考えて頂きたいというのが、私の唯一の希望であります。

市 スクールバスのことですが、当然、通学距離が長くなることを考えますと、そのような検討は出てくると考えています。学校の場所の話ですが、これにつきましては只今、貴重なご意見を頂きましたので、それを踏まえまして審議会の方に伝えまして、検討の方を進めていきたいと思ひています。

市民 6 10月から審議会が開かれますが、これは全て公表されますか。また、メンバーは公表されますか。

過去の審議会では、統合する地区の委員は出席率が悪く、統合される側の学校の方は一生懸命出席していました。その辺の意見も聞きたいです

市 今度開かれる審議会ですが、原則公開するという予定で進めております。第1回目の開催についてもホームページでご案内する予定です。

また、今回の審議会の委員のメンバーですが、基本的には条例上20名という形で、市議会議員の代表の方2名、行政協力委員の代表の方を4名、小中学校PTA

関係の方が7名、学校関係が2名、学識経験者が3名、あと公募による委員が2名、という計20名です。

午前中にも、審議会では全ての学校から意見を吸い上げるべきではないかという意見がありました。それについては、審議会に参考人という形で、委員となっていないPTAのご意見を伺う時間を設けたいと思っております。これは条例でも定められておりますので、第1回審議会で諮ったうえで、決定して頂いて、次の2回目からの委員となっていないPTAの皆さんに参加して頂けるような、開かれた審議会にしていきたいと考えています。

市民 6 議事は公開されますか。

市 はい。

市民 7 子どもたちの命に関わる問題が起きかねないような、最近の気象状況では、高台など地形的なものを、審議の際には考慮して頂きたいと思います。以上です。

市 ありがとうございます。今のはご意見として頂戴していきたいと思います。

市民 8 アンケートで69.4%の人が統廃合に賛成ですので、それは統廃合しなくてはいけないということだと思います。そこからもうスタートして、では何処と何処を統廃合するということまで、もう進んで良いと思います。全部の意見を聞いていたら、いつまで経っても埒があきません。

一番大切なのは、お金でも保護者の意見でもありません。子どもたちの命を、私たち大人がどうやって守っていくかということです。いくら良い教育といって良い先生を揃えたところで、子どもたちの命が無くなってしまったのでは、元も子もありません。では何処にすべきかということ、いち早く討論に入って頂き、ただひたすら子どもたちの命を一番にやって頂きたいと思います。これは質問ではなくお願いでございます。宜しくお願い致します。

市 ありがとうございます。統廃合を進める上では、行政判断をして行うのも止むを得ないのかなと思う点と、何よりもまず子どもたちの命を最優先に考えて頂きたいということ、しっかりと受け止めたいと思います。

市 民 9 例えば、谷原小に福岡小や十和小が統合しても、クラスが10クラスしか無いということであれば、複数の学級は出来ないのではないのでしょうか。そうであれば、最初に決定された6小4中のスタンスも変えるような検討も必要なのではないのでしょうか。

中学校が新しくみらい平地区に建設された場合に、谷和原中が無くなる可能性もあると思うのですが、例えば、谷原小・十和小・福岡小が富士見ヶ丘小に統合された場合に、谷原小学校が空くので、谷和原中学校と谷原小学校の両方を中学校として活用するなど、そのような検討もされるのかお伺いしたいです。

市 確かに人数が少なく、3つの小学校が集まろうとしても、2学級にはならないということも考えられると思います。ただ、現計画の適正規模の基準では、1学級20人以上を超える場合は認めるという但し書きもありますので、その辺も含めて、今頂いたご意見は審議会の方に出させて頂いて検討していきたいと思えます。

市 民 4 学校の適正配置を超えてしまう質問かも知れないのですが、つくばみらい市は高校が1校のみで、これはどう考えても人口に見合わない高校の数かなと思います。例えば、つくばみらい市は農業が盛んなところですので、農業に従事する若者を育てるということも、1つ方法としてはあるのではないのでしょうか。せっかくこれだけの環境があるので、小学生の内から色々な地域の産業に触れさせる経験があっても良いと思えます。小学生の内にはしか触れられないことも、地域としてどのように考えていらっしゃるのかということをお伺いできればと思えます。

市 ありがとうございます。つくばみらい市として、何を育てるかということですが、やはりつくばみらい市を誇りに思うような子どもたちを育てていきたいと思えます。勿論、学力が高い子もいますし、豊かな人間と思った子どもたちを育てたいと思っております。高校につきましては、県立高校の件がありますので、市では対応できないと考えております。

市 では時間の方も迫っておりますので、今お手を挙げて頂いていた方を最後に、ご意見ご質問を最後にさせて頂きたいと思えます。

市 民 10 感想のような形で申し訳ないのですが、初めてこのような説明会に参加させて頂いたものですから、雰囲気、その他感じたことを少し述べさせて頂きたいと思えます。

私は長いこと教員をやっておりましたので、内容につきましてはよく分かります。先ほども文部科学省が発表している小規模校の弊害の説明がありました。これは全くそのとおりです。項目につきましては実際に起こっていることですから、

あれは必ず解消しなければいけません。ですから、早急に複式学級は解消していく方向で、強力に市長さんのリーダーシップを発揮して頂きたいと思います。その方が子どもたちにとって絶対プラスになります。

私の経験で申し訳ございませんが、私は小規模校から大規模校まで全部経験しておりますけれども、小さい学校の場合には、その弊害どおりになります。専門家が分析した通り、やはりあれだけの弊害がある訳ですから、早急に1日も早く、あと2年と言わずに本当に早く解消していかないと、子どもたちのためにならないという風に感じております。是非、市長さんのリーダーシップをお願いしたいと思います。以上です。

司 会 ありがとうございます。では予定の時刻を過ぎてしまいましたが、以上を持ちまして、『つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会』を終了いたします。

■ ご意見シートの内容一覧

No	内 容
1	<p>みらい平地区住民が多いのですが、今回の説明会の存在や、自身の居住地の学区さえ認知していない方も多いと感じています。その辺りは特にみらい平地区の政治参加への意識の低さが大きな問題点だと思う。しかし、そのきっかけがなかなかないのも事実であり、ママ友同士でお茶をすれば様々な意見や要望も出てくるのです。それはあくまで「～だったら良いのに。」というような独り言や、言うだけでは単なるワガママのようではあるけれど、説明会等に参加してない全ての人が、意見がない訳ではないのです。もちろん、今回の意見であったように、「全ての意見を採用」しようとしては恐らくこの議題だけでなく何事も進まないのが前述の通り、私も市長さんのリーダーシップに期待しています。</p> <p>みらい平地区の政治参加の悪さについて、転居、出産、育児に追われ参加できない世代が多いことも理解していただきたい。例えば、乳児検診の待ち時間にグループセッションを行うなど、行事に合わせてそういった機会を作って頂ければ、転入家庭の方々が政治参加へのきっかけになるのではないかと感じます。また「手を挙げたり」「名前を言って人前に立つ」ことが苦手な30代も多いので、グループセッションのような形をとれば、広く意見を拾えるのではないかと思います。</p>
2	<p>学校の適正配置は、まず子供たちの教育環境を第一に考えるべきで、大人たちの思惑に左右されるべきではない。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・統合には賛成です。 ・各地域のビジョンに合った形にして頂きたいです。まちづくり重視です。 ・福岡地区には良い資源があります(福岡堰さくら公園、工業団地、みどりの駅への利便性など)。ぜひ、これからのつくばみらい市の特色に活かしてほしいと思います。 ・スクールバスを出すなら、学区フリーにするのも一案かと思っています。

4	複式学級の解消は待ったなしの案件です。市長さんのリーダーシップで早急に進めていただきたいと思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、富士見ヶ丘地区に引越ししてきたため、つくばみらい市がどういう状況・方向性で教育について考えているのか分からず、こういう場は大変勉強になりました。 ・中学校の新設に大変興味があります。みらい平地区の成長率を考慮して、ぜひ同地区への中学校建設をお願いしたいです。 ・web アンケートがあると解答しやすくてよいです。
6	アンケートの集計をコンビニに持って行きました。その際、「何ですかその用紙？」と言われたので、コンビニエンスストアへのしっかりとした連絡をお願いします。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の集約改善。 ・市長のスピードと決断期待します。 ・子どもたちのために何が一番か大人の私たちが、みんなで考えましょう。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の少ないのとアンケートの回答の少なさにびっくり。何が原因なのかわからない。 ・地域での話し合いが必要か。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの複式学級を解消してほしい。その検討には市民の負担を減らす方向で努めていただきたい。 ・みらい平地区に限らず、高校を誘致して欲しい。
10	子どもたちには、安全な環境の中で一定水準以上の平等な教育機会が与えられなければなりません。とりわけ、気候変動による予想を超える災害が発生する事は現実の問題となっており、学校施設はその事を十分に考えて、立地や建物構造が検討されなければなりません。小貝川の氾濫は、起こるものであるとの考え方から検討をスタートさせていただきたい。学校に居るのが一番安全だといえる施設であってほしい。
11	統廃合する方針に賛成。どんな教育方針としているかを具体的に明確にしてほしい。
12	複式学級の早期解消に向け、取り組んでいくべきだと思う。
13	色々な意見・質疑が出て良かったと思う。意見交換が出来ました。
14	<p>幼稚園と老人ホームを一緒にとか、小中一貫校とか他の市でうまくいっている所も取り入れて計画に入れてほしい。</p> <p>歩いて通える、顔の見える安全な教育環境を準備してほしい。</p>
15	意見交換というよりも、反対者の話だけになっている。自分が卒業した学校だから無くなるのが「いや」というエゴだけである様に思われる。年配の方には申し訳ないですが、今、現状の話をしていただきたい。今後、つくばみらい市にて子供が生活していく為の話し合いをして欲しい。